

世界の観光行政官らが小田原市を訪問 漁業・漁港を通じた観光振興を学びます

JICA東京では、日本で観光マーケティングや観光客誘致の手法を学ぶことを目的とした研修を実施しており、開発途上国から観光行政官を受け入れています。今回は下記日程において小田原市を訪問しますので、是非取材をご検討ください。

開発途上国では、外貨獲得や雇用創出、地域開発の観点から多くの国が観光客の誘致に取り組んでいます。今回は以下の行程により小田原漁港・小田原漁港交流促進施設を訪問し、小田原市の漁港・漁業を通じた観光振興政策を学びます。

お話を伺ったあとは鈴廣かまぼこの里・かまぼこ博物館を視察し、実際に竹輪づくりを体験します。



以前の研修旅行の様子(植林体験)

<取材可能日時・場所>

11月27日 (水)

10:00-11:00 / 小田原市役所の小田原漁港を中心とした観光振興策について

11:00-11:45 / 小田原漁港・おさかなセンターの視察

13:10-14:00 / TOTOCO 小田原の視察

14:20-15:50 / 鈴廣かまぼこの里・かまぼこ博物館視察・竹輪づくり体験

※取材をご検討いただける場合、事前に下記連絡先までご一報いただければ幸いです。

<研修概要>

研修コース名：観光振興とマーケティング

研修期間：2019年11月10日～2019年12月7日

<参加者>

バングラデシュ、ベリーズ、フィジー、ガボン、ガンビア、レソト、北マケドニア、セントビンセント・グレナディーン、ソロモン諸島、東ティモール、バヌアツ、ザンビア、ジンバブエからの観光行政関係者 13名

※当日は、研修監理員が同行し、通訳（英語・日本語）を行います。



今回の研修の参加メンバー

【本件に関する問い合わせ・連絡先】

◆当日の取材について

JICA 東京 産業開発・公共政策課 門脇

TEL 03-3485-7630 E-mail: Kadowaki.Megumi@jica.go.jp